

労働安全衛生、保安防災

安全操業、労働災害撲滅を最優先課題として、自主的な安全衛生活動を推進し、安全で働きやすい職場環境づくりを進めています。

労働安全衛生への取り組み

当社では、「安全操業・労働災害撲滅」を最優先課題として、安全衛生管理体制を整備し、危険予知(KY)活動、5S活動など様々な安全衛生活動を推進しています。また、労働安全衛生のマネジメントシステムである国際規格ISO45001を全工場で認証取得しています。

教育・訓練の充実

安全に対する基本的な考え方、化学物質の安全な取り扱いなど業務に必要な安全衛生知識について、教育を実施するとともに、業務上必要な資格の取得推進を図っています。また、万一の火災、化学物質の漏えいおよび自然災害などに備え、防災訓練・教育を実施し、緊急事態に備えています。さらにこれまでの安全衛生教育に加え、実際の危険を疑似体験する「危険体感教育」を実施し、危険感受性の向上を図っています。



防災訓練(北海道工場)



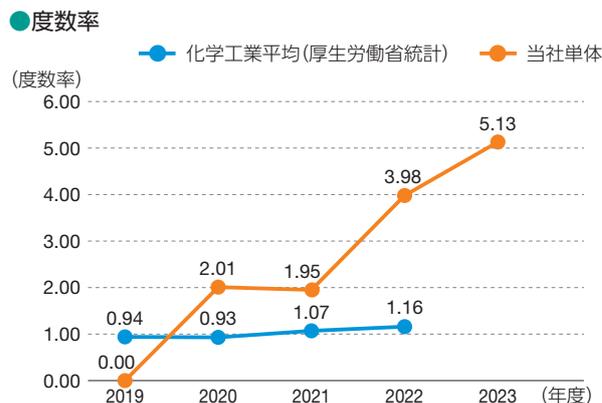
防災訓練(新潟工場)



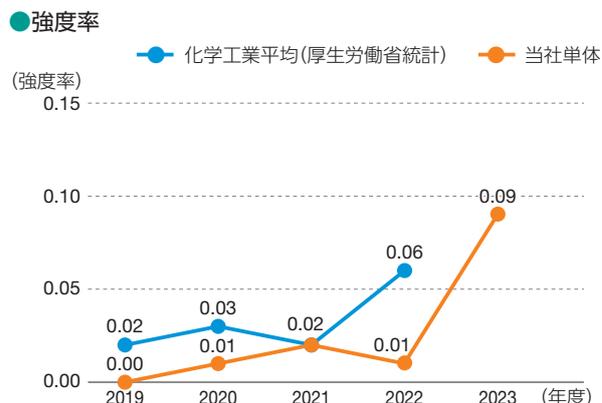
防災訓練(岡山工場)

労働災害の発生状況

2023年度は、休業災害が5件(凍結路面における転倒2件を含む)発生しました。発生した災害については、設備対策、作業方法の見直しなど対策を講じ再発防止に努めています。実施した再発防止対策については、RC内部監査において運用状況、実効性を確認しています。また、事故・災害情報については、当社グループ内で共有し、類似事故・災害の防止を図っています。



度数率：災害発生の頻度を示す指標
(労働災害による死傷者数)÷(延べ実労働時間数)×100万



強度率：災害の重さの程度を示す指標
(延べ労働損失日数)÷(延べ実労働時間数)×1,000

※2023年度の化学工業平均については、編集時点で公表されていないため、掲載していません。